



ナーシングホーム智鳥 建て替え事業のご説明

建て替えについて

- ナーシングホーム智鳥は**2023年春**に新しい施設に建て替わります。
- 3階建て、全室個室の「**ユニット型特養**」です。
- 定員 特養 80名（現施設 50名）
シヨート 20名（現施設 10名）

ユニット型特別養護老人ホームとは

- ユニット型特養とは、「**ユニット**」という、12～13名程度の少人数をグループごとに介護する「**ユニットケア**」を行います。
- 「ユニット」ごとに専任の介護スタッフが配置されるため、入居者一人ひとりに合わせたきめ細かな介護サービスが提供できます。

ユニット型特別養護老人ホームとは

・小規模生活単位になることで、より情報収集が密になり、その人にあったケアに繋げることが可能となります。



現在のナーシングホーム智鳥との違いは？

- 現在のナーシングホーム智鳥は「従来型特養」で、居室は4人部屋が主となりますが、ユニット型特養は「全室個室」です。
- 個室化により、多床室などではむずかしかった入居者のプライバシー保護が可能になります。
- 今まで行ってきたケアのいい部分を継続しながら、新たにユニットケアの理念に沿ったケアを行います。

現在のナーシングホーム智鳥との違いは？

- 個室化により、感染症対策がしやすくなります。
- 居室の設えは、ご自身の慣れ親しんだモノをお持ち込みいただくことで、より落ち着いた環境でお過ごしいただけます。
- 各居室に洗面、トイレが設置されます。
- ユニット毎に浴室を配備します。その人のペースに合わせた入浴に繋がっていきます。

ユニットケアの理念

- ユニットケアとは、利用者一人ひとりの個性や生活のリズムに沿ったケアであり、できるだけその人らしい生活が継続できるように支援するものである

(老人福祉法)

⇒「一人ひとりの生活(暮らし)の継続」



新しいナーシングホーム
智島の「建物」について
説明いたします

1階

- ・事務所
- ・デイサービス
- ・厨房
- ・診療所、医務室
- ・地域交流スペース

玄関

エレベーター

厨房

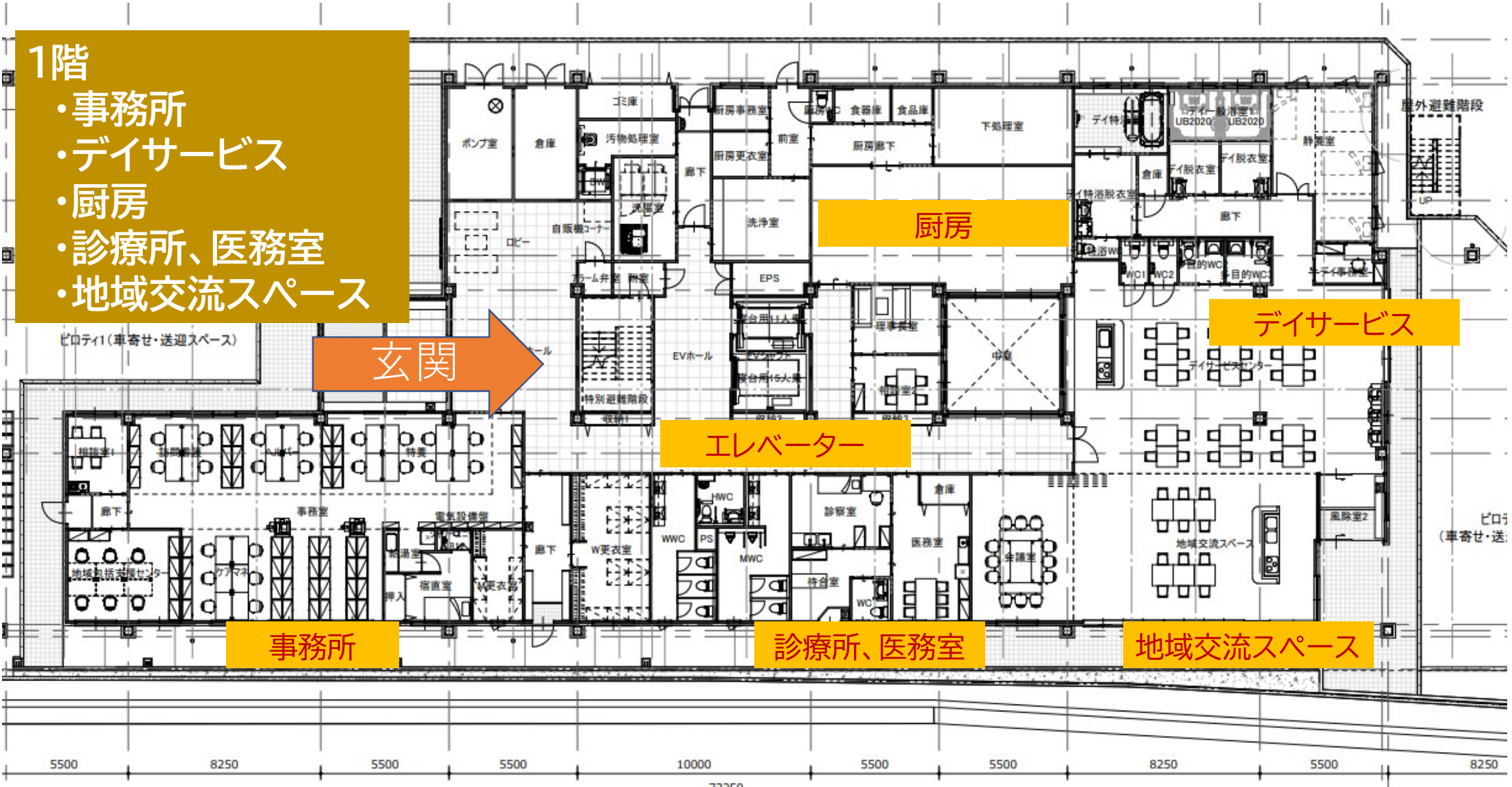
デイサービス

事務所

診療所、医務室

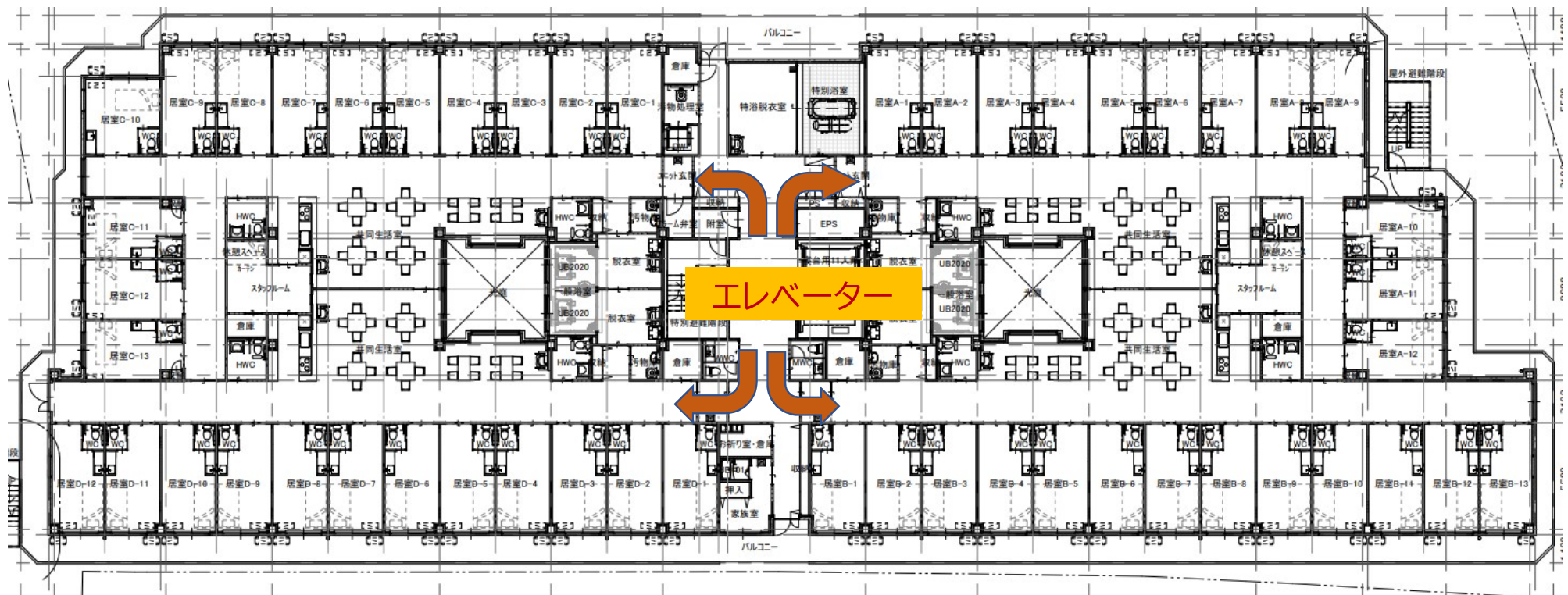
地域交流スペース

5500 8250 5500 5500 10000 5500 5500 8250 5500 8250

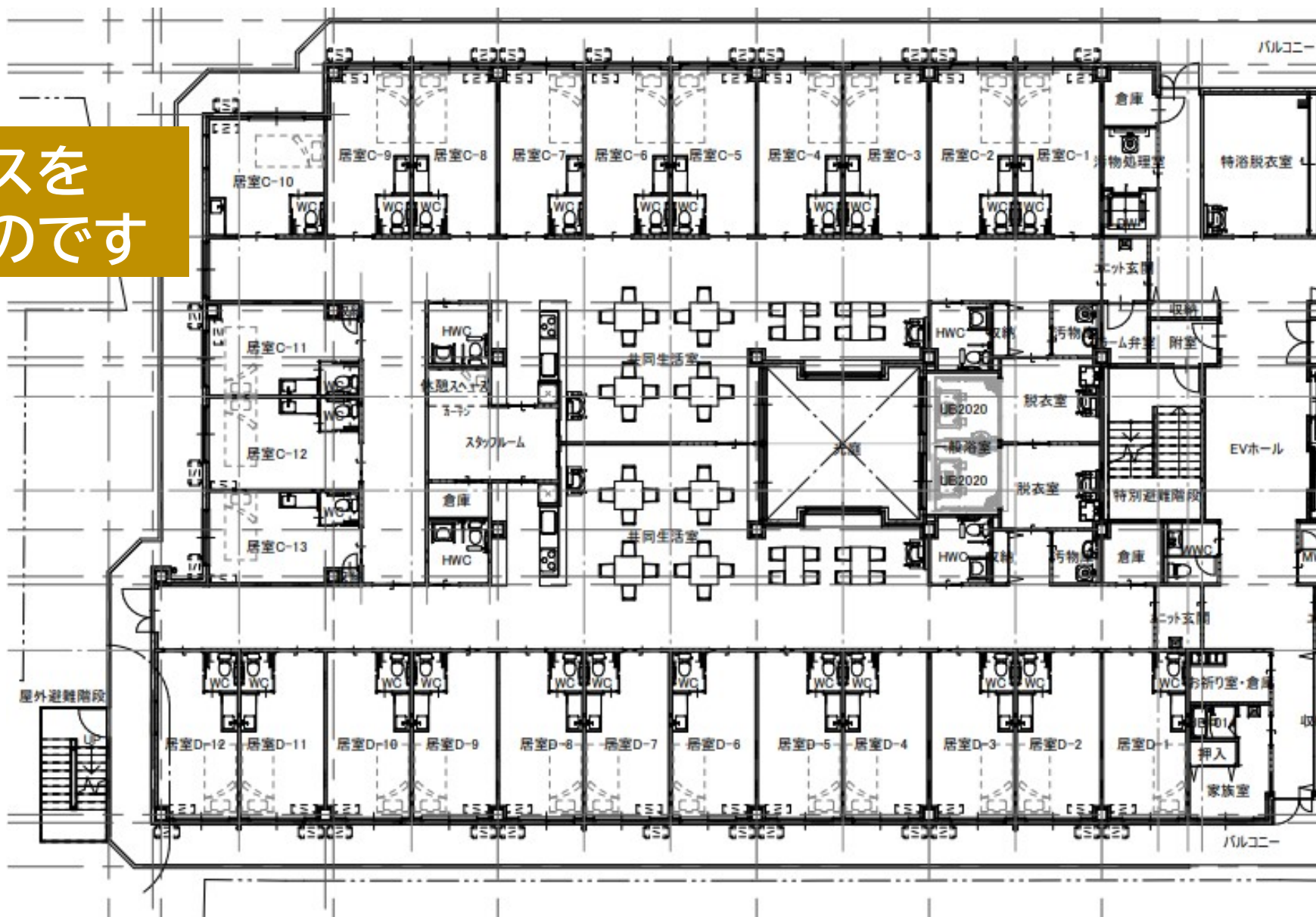


2階と3階が「居住スペース」となります

- ・1つのユニットに12室もしくは13室
- ・1つの階の居室数は50室
- ・全居室に水洗トイレ、洗面台、介護ベッド を設置
- ・ユニットごとに食事をしたり、日中過ごす「リビングルーム」
- ・リビングごとに個浴、階ごとに特浴(ストレッチャー浴)



居住スペースを
拡大したものです



先進の介護サポートシステムを導入します

コニカミノルタ社「HitomeQ ケアサポート」

業務用スマートフォンへの映像通知により、職員が室内を離れても入居者様の行動(起床や離床、転倒や転落)が把握でき、素早い訪室ができます。また転倒や転落などの状況を後で映像で確認できます。



医療について

施設に入所する際は、これまでのかかりつけ医から、施設に併設されている診療所の医師に引き継がれます。主に内科的な診察は施設の中で行うことができます。内科以外や専門的な検査がある場合は外部受診をすることがあります。

生活施設であるために、健康管理が中心です。専門的治療やケア（痰吸引や点滴など）がある方はご利用が難しいことがあります。

リハビリについて

特養は生活施設なので、病院のような専門的なリハビリについては、ご提供がむずかしいこともありますが、施設の中での生活の場面で機能向上ができるように「機能訓練指導員」が配置されています。



「個室での生活は寂しくないの？」

- それぞれの「居室」に隣接して共有のリビングスペースがあり、職員や他のご利用者とのコミュニケーションがとりやすいようになっています。
- 日々ユニット単位で生活し、親しい人間関係を築くことができ、寂しさを感じる事が少なくなります。



「職員の勤務体制はどうなるの？」

- 厚生労働省で決められている特養の人員配置基準に沿って配置します
- 昼間は1ユニットごとに常時1名以上、夜間は2ユニットごとに原則1名の介護職員が勤務します

